

## 小野八幡神社 八幡通4丁目

## ●「八幡通（はちまんどおり）」の由来



社伝によれば、887（仁和3）年の創祀。祭神は応神天皇で、旧小野新田村の氏神。言い伝えでは、源平合戦の一ノ谷の戦いの時、生田の森で戦死した源氏の河原太郎・次郎兄弟のために源頼朝が報恩寺を建て、その鎮守として建てられたのが小野八幡であるという。報恩寺はもと大丸の北にあったというが、その鎮守の宮がなぜこの地にあるのかはわからず、こうした言い伝えはどこまで真実かはわからない。なお、報恩寺があったとされているあたり、三宮神社（三宮町2丁目）の境内には、震災前、「従是河原兄弟塚」の碑や「河原霊社」が建っている。

神社の入り口両脇に、二本の折れた鳥居があるが、これは震災前にしめ縄をかけ渡す「しめ鳥居」の一部だったもので、震災で倒壊したため、1996（平成8）年秋に「甦れ神戸 復興祈願」の文字を刻んで震災の記念碑としたものである。

なお、この地域を八幡通というのは、小野八幡神社があることにちなむ。

## ●「磯上通（いそがみどおり）・磯辺通（いそべどおり）・浜辺通（はまべどおり）」の由来

浜に近いところから、磯や浜の字が付けられた。もとは小野新田村の区域であった。海に近いところを「浜辺」、山手を「磯上」、中間を「磯辺」と名付けたという。